

令和5年度(2023年度)第3回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和5年(2023年)6月19日(月) 午後2時30分～午後3時25分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	倉光 麻里子
文学部長	村尾 治彦
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
共通教育センター長	山田 俊
地域・研究連携センター長	柴田 祐 (リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎 (リモート参加)
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード (リモート参加)
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	岩本 修一
監 事：公認会計士・税理士	吉川 榮一
弁護士	本田 悟士

事務局：二宮総務課長、國武企画調整室長、犬塚地域・研究連携センター事務長、樋口学生支援課長、三隅教務入試課長、藤本教務入試課教務班参事、塩田教務入試課教務班主事

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

- ① 第3期中期計画・令和4年度計画に関する自己点検・評価(案)等について企画調整室から資料1に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・本学の実施方針に基づき自己点検・評価として、資料1-2のとおり「令和3年度業務実績に係る自己点検・評価報告書(案)」を取りまとめたので御審議いただきたい。
- ・本日の教育研究会議では教育研究に関する部分について、また経営会議では経営に関する部分についてそれぞれ御審議いただいた後、理事会での全体審議を経て、6月末に結果を公表する予定。
- ・監事監査については、今回の「自己点検・評価報告書」を基に「事業報告書」を作成し、受監後、県へ提出予定。併せて、法人評価についても各事業年度の業務実績について設立団体である県の法人評価委員会の評価を受けることとなっているので、同様に本日の「自己点検・評価報告書」を基に「令和4年度(2022年度)業務実績報告書」を作成し、県の法人評価委員会へ提出する。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

- ② 熊本県立大学特任講師の任用について  
共通教育センター長から資料2に基づき、以下のとおり説明があった。
- ・6月で任期満了となる、緑の流域治水研究に係る特任講師の任用について、ご審議いただきたい。
- 審議の結果、案のとおり承認された。
- ③ 教員採用に係る枠取り（食健康環境学）について  
環境共生学部長から資料3に基づき、以下のとおり説明があった。
- ・食健康環境学分野の教員の転出に伴う補充として1名採用したい。
  - ・管理栄養士養成施設としてこの分野を担当する教員は3名必要だが、1名不足した状態となったため、早急に採用を行う必要がある。
- 審議の結果、案のとおり承認された。
- ④ 総合管理学部専攻制導入に伴う3ポリシーの改正について  
総合管理学部長から資料4に基づき、以下のとおり説明があった。
- ・令和6年度入試から専攻制を導入することから、学部のポリシーを変更する必要性が生じたもの。
  - ・今回は、3ポリシーのうちディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育方針）を変更する。アドミッションポリシー（入学者の受入方針）については、入試制度の変更はないため変更なし。
- 審議の結果、案のとおり承認された。
- ⑤ 次期（第4期）中期計画期間（R6-11）において重点的に取り組む事項（案）について  
企画調整室長から資料5に基づき、以下のとおり説明があった。
- ・第3期中期計画の計画期間が令和5年度（2023年度）で終了するため、次期（第4期）計画（令和6～11年度）を策定する必要がある。
  - ・そこで、熊本県の第4期中期目標の重点目標（案）と中期目標（素案）に合わせて、学内の意見等も踏まえた次期計画期間に重点的に取り組む事項（案）を検討・作成したので、御審議いただきたい。
- 審議の結果、案のとおり承認された。
- ⑥ 令和5年度研究活動上の不正防止対策に関する実施方針及び実施計画（案）について  
地域・研究連携センター長から資料6に基づき、以下のとおり説明があった。
- ・実施方針は昨年度から変更はない。
  - ・実施計画については、昨年度末、地域共創拠点運営機構の研究活動上の不正行為防止に関する運営管理体制を明確化したことに関連し、一部修正を行った。また、コンプライアンス推進責任者によるモニタリングを改めて2件実施することとしている。
- 審議の結果、案のとおり承認された。

## (2) 報告事項

### ① 令和4年度(令和5年3月卒業者)の就職等決定状況について

学生支援課長から資料7に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・就職率は、98.1%であり、前年の97.4%を上回った。
- ・各学部別では文学部が94.4%、環境共生学部が98.8%、総合管理学部が98.8%。

### ② 熊本県立大学未来基金令和4年度(2022年度)収支状況について

企画調整室長から資料8に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・収入状況、寄附状況として収入計2,991千円余、支出状況として修学支援、海外留学支援など支出計4,228千円余、収支残額が57,616千円余。また寄附者についてはP4のとおり。

### ③ 内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」への申請について

地域・研究連携センターから資料9に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・この事業は、地域の中核となる大学のうち、官庁(文部科学省を除く)や自治体が担う事業に主体的に参画し、地域が抱える課題解決に資する取組を通じて得られる外部資金獲得実績等を勘案して優れた構想を持つ大学に対して、1億円程度×2年間、10大学が支援されるもの。
- ・環境共生学部における水銀研究や、地域共創拠点による流域治水の研究など、地域と連携した実績を強みとして、今後オープンイノベーション施設や総合管理学部の機器更新を通じて、産学官連携を推進するために、本学も応募したところである。

## 4 その他

### 次回日程

令和5年度(2023年度)第4回 7月18日(火) 午前10時～ 本部棟大会議室

## 5 閉会